

きんたろう 金太郎コース

金太郎伝説をたどり、パワーアップして金時山へ登ろう!



歩いて、未病を改善! 南足柄市 箱根町 No. 72
神奈川県・東海地域ウォーキング

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

- S スタート** 箱根登山バス 〇「地蔵堂」
伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」(〇関本)から約30分
- G ゴール** 箱根登山バス 〇「金時神社入口」
※「御殿場駅」または「新宿駅」行きとなります。
JR「小田原駅」までは徒歩約20分の〇「仙石」から約55分です。

※バスの本数が少ないので事前にご確認ください。
※南足柄市HP <http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kankou/>
※箱根町観光協会HP <https://www.hakone.or.jp/>
※富士箱根伊豆国立公園 箱根地域内における歩道利用ガイドライン <https://www.hakone.or.jp/6394>

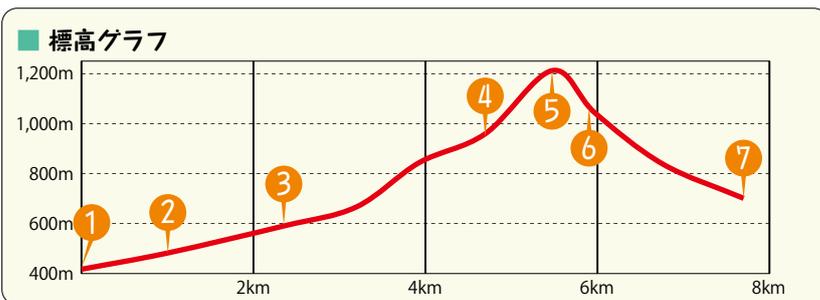
歩行距離	歩行時間	消費カロリー
7.7 km	3時間45分	1,052 kcal
高低差	歩数	
795.9 m	10,065 歩	

コースの魅力

- 【景観】** 金時山山頂から眺める富士山・箱根外輪山・相模湾
- 【歴史】** 公時神社、地蔵堂



夕日の滝は
パワースポット
といわれているのよ!



コースの概要

「地蔵堂」をスタートし、足柄山の金太郎伝説を訪ねながら「金時山」を目指すコースです。金時山の登りは少々きついです。山頂に茶店やベンチもあり、パノラマを楽しみながら休憩できます。下りは金太郎が祀られている「公時神社」へ。金太郎が産湯をつかったと伝えられる「夕日の滝」や、動物達と遊んだといわれる「金太郎の遊び石」も見どころのひとつです。

金太郎伝説の人気スポット



金時山

童話「金太郎」の舞台となった山。「天下の秀峰」である金時山は、日本三百名山のひとつです。山頂には食事がとれる金時茶屋、金太郎茶屋があり、富士山や芦ノ湖などを望むことができます。また、「まさかり」の形をした標柱が設置してあり、記念撮影スポットになっています。

ひと足のばしてみよう!



金太郎大もみじ

地蔵堂のすぐ近く、足柄峠への分岐となる県道沿いに立つ、大きなもみじの木です。高さは約20m、太さは1.3mもあり、「金太郎大もみじ」と呼ばれています。毎年11月の見頃には多くの人々が訪れ、様々な角度からもみじを眺める姿が見られます。少しずつ色どりが変わるもみじをお楽しみに。

※歩行距離と歩行時間は、南足柄市・箱根町のデータを参照。 ※高低差・標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。 ※掲載情報は、令和5年2月現在のものです。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。



ウォーキング MAP



ミヨーナ



ミヨーネ



金時山山頂からの富士眺望



① 地蔵堂
誓広寺のあとに残された地蔵堂。堂内の仏像は県指定文化財とされています。



- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう
 - 5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましょう
 - 6 山の天気は急変するので、レインウエアを持っていきましょう

ジオサイトって?
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

金太郎の「ふるさと」をご紹介します!



夕日の滝
夕日に映えるその美しさから付けられたとも言われている滝。酒匂川の支流内川にかかる落差23m、幅5mの滝で、金太郎が産湯につかたと伝えられています。



金太郎の遊び石
金太郎生家跡近くにある大きな石。「たいこ石」「かぶと石」など、金太郎が動物たちと仲良く遊んだと伝えられこの石を使って相撲の稽古をしたともいわれています。

坂田金時

金太郎は源頼光の家来になって「坂田金時」と改名。頼光四天王の一人として、大江山の酒吞童子をはじめとする妖怪退治に活躍したとされています。足柄峠と金時山の中腹に位置する地蔵堂から少し入った所に生家跡があります。



南足柄市郷土資料館所蔵